

保護者様



特別支援教育だより N o 1

平成23年5月10日

栃木市立三鴨小学校

## 「〇〇メガネあったらいいな。」

メガネをかけている人に「メガネをかけているのは、みんなと同じじゃないから不公平ですよ。」と言ったら、周りの人はどうな反応を示すでしょう？

「おかしなことを言う人ね。メガネをかけないとよく見えないじゃないの。」と言われてしましますよね。

メガネは見えにくいものをよく見えるようにし、快適に暮らせるようにするための道具。漢字が良く読める『漢字メガネ』、作文が書きやすくなる『作文メガネ』、かけると気持ちが落ち着く『落ち着きメガネ』・・・等々。自分にぴったりのメガネがあつたらどうでしょう。



## 苦手なこと、困難を感じることって誰にでもありますね

人は生まれ持った才能や特質、成長の過程で身につけた能力等、一人一人ちがう面を持っています。とても得意なことがある反面、とても苦手なことがあつたりしますね。

苦手さにも、少し努力すればできるようになる程度のものから、どんなに努力しても難しいものまで、人によってちがっています。

学校の集団の中でも、ものの見え方・聞こえ方・言葉や数の習得・状況判断のしかた・気持ちのコントロールのしかた・相手の表情や感情の読み取り方・・・等々苦手とするお子さんがいます。努力不足や悪ふざけではなく、どうにかしたいと思っていてもどうして良いか分からぬのかもしれません。また、叱られることが多くなり、自分で自分の評価を下げてしまっていることが多いでしょう。本当に困っているのは・・・・？



## その子にあつた「めがね」を見つけよう

～『自分の力を高めよう』とする児童を応援します～

「特別支援教育」とは、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導や必要な支援を行うものです。その子なりのやうにくさ、わかりにくさに合つた「めがね」を一緒に探していくことが、私たち大人の役目ではないでしょうか。

そのため大切なことは

教師と保護者が、互いに子供の成長やつまづきの様子に気づくこと。学校や家庭でその子を支援していく方法やステップを、今後どのように踏んでいったら良いかについて話し合い、共通理解を深めていくこと。

だと思います。

これから定期的に、特別支援教育だより「ふれあい通信」を発行して参りますので、どうぞよろしくお願いします。感想やご意見・ご質問などありましたら、のメッセージ欄にご記入いただき担任まで提出していただければ嬉しいです。

----- きりとり -----

〈メッセージ〉

「ふれあい」 N o 1

保護者様



特別支援教育だより

平成24年5月25日  
栃木市立三鴨小学校

1年生の保護者の皆様。

「特別支援教育」というと、耳慣れない言葉かもしれません、子ども達に寄り添いながらその成長を助ける一つの力だと思います。昨年から年に数回、子供たちの脳や体の育ちについてお便りを出してきました。その最初の一枚を抜粋して出させていただきました。

## 「○○メガネあったらいいな。」

メガネは見えにくいものをよく見えるようにし、快適に暮らせるようにするための道具。漢字が良く読める『漢字メガネ』、作文が書きやすくなる『作文メガネ』、かけると気持ちが落ち着く『落ち着きメガネ』・・・等々。自分にぴったりのメガネがあつたらどうでしょう。



## 苦手なこと、困難を感じることって誰にでもありますね

人は生まれ持った才能や特質、成長の過程で身につけた能力等、一人一人ちがう面を持っています。とても得意なことがある反面、とても苦手なことがあつたりしますね。

苦手さにも、少し努力すればできるようになる程度のものから、どんなに努力しても難しいものまで、人によってちがっています。

学校の集団の中でも、ものの見え方・聞こえ方・言葉や数の習得・状況判断のしかた・気持ちのコントロールのしかた・相手の表情や感情の読み取り方・・・等々苦手とするお子さんがいます。努力不足や悪ふざけではなく、どうにかしたいと思っていてもどうして良いか分からぬかもしれません。また、叱られることが多くなり、自分で自分の評価を下げてしまっていることが多いでしょう。本当に困っているのは・・・・?



## その子にあつた「めがね」を見つけよう

～『自分の力を高めよう』とする児童を応援します～

「特別支援教育」とは、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導や必要な支援を行うものです。その子なりのやるにくさ、わからにくさに合つた「めがね」を一緒に探していくことが、私たち大人の役目ではないでしょうか。

### そのために大切なことは

教師と保護者が、互いに子供の成長やつまずきの様子に気づくこと。学校や家庭でその子を支援していく方法やステップを、今後どのように踏んでいったら良いかについて話し合い、共通理解を深めていくこと。  
だと思います。

今年も、特別支援教育だより「ふれあい通信」を発行して参りますので、どうぞよろしくお願いします。感想やご意見・ご質問などありましたら、のメッセージ欄にご記入いただき担任まで提出していただければ幸いです。

きりとり

〈メッセージ〉

「ふれあい」 1